

目 次

口 絵

はじめに

第1章 背景と調査計画

第1節 丹沢大山自然環境総合調査(1995)と丹沢大山保全計画

第2節 丹沢大山総合調査

第2章 生きもの再生調査

第1節 植物

I 植生

1. 丹沢大山の植生—シカ影響下の植物群落—
2. 東・西丹沢の植生比較 —丹沢東西モニタリングエリアの植生—

II 維管束植物

1. 丹沢の維管束植物相
2. 丹沢山地東部の冷温帯自然林において
樹木の衰退が樹幹着生植物に及ぼす影響
3. シカの採食圧の異なる東西丹沢における林分構造と林床植生の差異

III コケ植物

IV 地衣類からみた丹沢

第2節 哺乳類・鳥類

I 大型哺乳類

1. 丹沢山地における大型哺乳類の分布
2. 保護管理にむけた神奈川県の新ホンザル
地域個体群の遺伝的モニタリング法の検討
3. 丹沢山麓における新ホンザルの行動域と環境利用
4. 丹沢山地の新ホンジカ地域個体群の遺伝的構造と遺伝子流動について
5. アルファルファヘイキューブを給与した
新ホンジカの消化生理とその季節変化
6. 南関東地域に生息するツキノワグマの遺伝子解析
7. 丹沢山地における新ホンカモシカの生息密度

II 中小型哺乳類

1. 地上性・樹上性の中小型哺乳類
2. 檜洞丸付近におけるヒメヒミズについて
3. 丹沢山麓におけるアライグマの分布と防除の現状について

4. コウモリ類の生息状況と保護

Ⅲ 鳥類

第3節 昆虫類・クモ類

I 昆虫

1. 丹沢三ツ峰における植生保護柵内外の昆虫調査
2. 丹沢山周辺におけるタンザワイケマの分布拡大とそれに伴うホソリンゴカミキリとジュウジナガカメムシの進出
3. シカ食圧に伴う丹沢の 2 地点における地表性昆虫調査
4. 東丹沢地域ブナ帯における樹洞性ハナムグリ類
5. 丹沢主稜の森林衰退とチョウ相の変化
6. 丹沢山地における希少種蝶類の衰亡の現況
7. ブナハバチ食害によるブナ枯死とブナ林の衰退

II クモ類

第4節 溪流生物

I 丹沢の溪流魚の危機

1. 魚類調査総括
2. 東西モニタリング・エリアの魚類相
3. 取水堰が溪流魚に与える影響
4. 丹沢在来ヤマメの生息状況調査
5. 溪流魚の DNA 解析調査

II サンショウウオからみた丹沢

III 底生生物から見た丹沢の沢

1. 堂平沢およびワサビ沢の底生動物
2. 小規模貯水ダムの河川底生動物群集に与える影響
3. ミトコンドリア DNA 塩基配列からみた丹沢地域におけるガガンボカゲロウの遺伝的多様性
4. 外来の河川底生動物

IV 付着藻類から見た丹沢

第5節 土壌動物と菌類

I 丹沢山地におけるシカによる環境変化が土壌動物群集へ及ぼす影響

II ヤマビルとマダニ

1. ヤマビル
2. マダニ

III 丹沢の大型菌類(きのこ)相

IV. 微小菌類

第3章 水と土再生調査

第1節 大気

- I 丹沢山地における最近の気象の特徴
- II 丹沢山地周辺のオゾン濃度の実態とブナに対する影響
- III 丹沢大山山地のブナ着葉期におけるオゾン濃度分布
- IV 洞沢の降雨水質
- V 丹沢山塊における微量ガス成分の濃度分布

第2節 水

- I 大洞沢の降雨と流出
- II 丹沢山地の渓流水質
- III 溪畔林帯の幅の違いが溪流環境に与える影響
 - 西丹沢大又沢支流と世附川支流 —

第3節 土

- I 中川川流域における堰堤満砂期間を用いて推定した土砂生産分布と崩壊履歴の関係
- II 1923 年以降における西丹沢山地での崩壊地発生の特徴
 - 中川川・玄倉川流域 —
- III 丹沢山地における森林土壌の特性
- IV 堂平地区における林床植生衰退地での土壌侵食と浸透の実態
- V 堂平地区における緊急土壌侵食対策試験施工の土壌侵食軽減効果

第4節 森林環境の変遷

- I 丹沢山地における土砂災害の実態とその履歴
- II 丹沢大山地域における森林資源の変化と森林管理・利用の変遷
- III 丹沢山地のブナ林の現況—林分構造と衰退状況—

第4章 地域再生調査

第1節 調査の目的と方法

第2節 基礎的調査

- I 土地利用・社会・経済的状況
- II 市町村ワークショップと地域再生フォーラム

第2節 暮らしの再生

- I 丹沢大山地域の「暮らしの曼荼羅」
- II 山麓地域の農業と食文化
- III 野生動物による被害実態・対策と住民意識
- IV 自立再生のためのケーススタディー
 - 1. 松田町寄(やどりぎ)地区

2. 津久井町青根地区

第3節 山のなりわい複合再生

I 丹沢の森林と林業

1. 森林劣化と林業
2. 地位・地利別の林業採算性について
3. 丹沢大山地域の利用可能な森林木質バイオマス賦存量の推計

II 森林管理となりわい複合再生

1. 健全な森林創造と山のなりわい複合再生
2. 適切な森林管理とは
3. 長伐期複層林型の生産林などでの木材利用について

III 森林利用

1. 木材利用の今後
2. 森林副産物(バイオマス)利用の今後
3. 森林利用を進めるための仕組みづくり

IV 森林所有者意識

1. 山北町清水地区の所有者意識
2. 津久井町青根地区における山林管理の現状と課題²

V 丹沢大山の森林環境と木材利用に関する県民意識

第4節 自然公園の利用環境評価

I 丹沢山塊の登山実態

II 登山道施設荒廃への影響分析

III 山岳・溪流湧水の水質分析

IV キャンプ場利用者の意識

V 登山者の登山環境・支援意識

VI 丹沢大山の山岳山麓地域の風景解釈と風景保全意識

第5節 丹沢大山地域の環境教育・学習

I 丹沢大山地域の環境教育・学習の活動実態

II 里山再生ボランティア活動の実態とニーズ

III 丹沢大山地域を教材とする環境教育学習に関する
県下公立小学校の実態とニーズ

IV 丹沢大山版環境教育学習の基本方針と推進方向

第6節 総括

I 丹沢大山地域での地域再生とともにある自然再生

第5章 情報整備調査

第1節 自然再生と情報整備

- I 自然再生と情報(概説)
- II 情報整備調査の概要
- 第2節 丹沢自然環境情報ステーション(e-Tanzawa)の構築と運用
 - I e-Tanzawa の概要
 - II e-TanzawaSupport の構築
 - III e-TanzawaBase の構築
 - IV e-TanzawaWeb の構築
 - V e-Tanzawaの運用・拡張
 - VI 自然環境情報の利活用ルール検討について
- 第3節 解析手法開発とデータ利活用
 - I 衛星リモートセンシングデータを用いたモニタリング手法開発
 - II GIS 植生図と衛星リモートセンシングデータの統合利用法開発
 - 1. GIS 植生図と高分解能衛星データを用いた統合植生図手法の検討
 - 2. GIS 植生図と高分解能衛星データを用いた天然林変化抽出
 - III 水循環モデル解析
 - IV システムダイナミクスに基づく森林とシカ個体群の統合管理の検討

第6章 特定課題の総合解析

- 第1節 丹沢大山総合調査における総合解析の概略
 - 総合調査から政策提言への橋渡しはどのように行われたか？
- 第2節 ブナ林の再生に向けた総合解析
- 第3節 人工林の再生－環境保全型林業にむけて－
- 第4節 地域の自立的再生に向けた総合解析
- 第5節 溪流生態系の再生
- 第6節 ニホンジカの保護管理に向けた総合解析
- 第7節 希少動植物の保護
- 第8節 外来生物の除去－丹沢山地における外来生物問題と対策－
- 第9節 自然公園の適正利用
- 第10節 統合再生流域

資料

丹沢大山総合調査公募型事業報告書

丹沢における公募型ブナ林健康度調査結果報告書－丹沢ブナ党－

丹沢大山流域の水質調査－丹沢大山ボランティアネットワーク－

「丹沢大山の大量ゴミの実態調査・撤去作業およびフィールドマナーの普及啓発」報告書－特定非営利法人 みろく山の会－

公募型事業「丹沢写真・資料展」事業報告書—丹沢資料保存会—
丹沢大山総合調査実行委員会の活動
丹沢大山総合調査関係者名簿